

令和5年度事業報告書概要（辰巳の森海浜公園外7公園）

指定管理者：東部地区公園グループ

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

・辰巳の森海浜公園 園地管理と建物管理

利用者がニュースポーツや遊具広場等の公園施設を快適に利用できるよう、基準を超えて除草や芝刈りを行いました。また、公園に滞在する時間をより快適に過ごしていただくため、公園の顔である管理事務所の清掃を基準を超えて行き適切に管理しました。

・辰巳の森海浜公園 緑地管理

ドッグランの芝張替えにおいて、若洲海浜公園（若洲シーサイドパークグループ）と提携し、ゴルフ場のグリーン改修工事で不要となった芝を活用することで、利用者の要望に応えるとともに資源の再利用も実現しました。また、水撒き用のホースリールを設置し、利用者の協力も得て水撒きを行うことで施設を適切に管理しました。



＜ゴルフ場の芝を活用したドッグランの芝張替え＞

・晴海ふ頭公園 禁止行為への対応

週末などに駐車場が満車になる場合が頻発したため、警備員を配置し満車時の対応や空き待ちの自動車による路上駐車防止に取り組みました。また、自転車での来園者が歩道などに駐輪するケースも多く発生したため、警備員が駐輪場へ誘導するなど対応し、安全な利用環境を確保しました。



【駐輪場外での駐輪】

【駐輪監視の警備員を配置】

＜警備員による駐輪対応＞

・晴海ふ頭公園、晴海緑道公園 禁止行為への対応

公園のベンチ等において禁止行為であるスケートボードが行われたため、定期的な夜間巡回の実施や看板・路面標示による注意喚起、防止へ向けた工事などにより、適正な公園利用につなげました。

○ 安全性の確保

・辰巳の森海浜公園 防災訓練

令和5年度から新たに一時滞在施設となった東京アクアティクスセンターと連携し、避難場所である公園から一時滞在施設への避難誘導訓練を行いました。また、独自に設置した晴海ふ頭公園管理事務所とも情報伝達訓練により避難状況を共有するなど、発災時の体制や対応を整備しました。

2 事業効果

○ 事業の取組

・レガシーガイドツアー

東京2020大会のレガシー継承及び海上公園の魅力を知ってもらうため、競技会場や海上公園を巡るツアーを実施しました。東部地区公園だけではなく他の指定管理者とも連携し、聖火台（シンボルプロムナード公園）、東京アクアティクスセンター、若洲海浜公園などをバスで回り、現地では各施設の担当者が丁寧に案内したことで、参加者から高い評価を得ることができました。



【晴海ふ頭公園の説明】



【若洲海浜公園での説明の様子】

<レガシーガイドツアー>

・辰巳の森海浜公園 こども祭り、移動動物園の開催

近隣のマンション増加により利用者層に若いファミリー層が加わったことを踏まえ、小学生を対象とした縁日の就業体験（お店のスタッフとして運営を体験）ができる「こども祭り」を実施しました。近隣小学校に周知を行ったことで多くの方にご参加いただき、公園の賑わいや地域交流の場を創出しました。また、移動動物園も新たに開催し、多くの家族連れに利用していただき来園者増につなげることができました。

・晴海ふ頭公園 防災・スポーツイベントの開催

隣接する臨港消防署と連携したVR地震体験や消火体験などの防災体験と、ドッチビーなど手軽に楽しめるスポーツ体験を組み合わせたイベント「晴海でASOBO!sai」を開催しました。継続的に年4回実施し、またコンテンツも充実させたことで、晴海ふ頭公園のイベントとして定着させることができました。



<防災・スポーツイベント>

○ 利用の状況

・辰巳の森海浜公園

令和5年度当初に公園整備工事が終了して全面的に公園がオープンし、また新たに子ども向けの催し開催によるファミリー層の増加、繁忙期に合わせた利用時間の延長など、利用促進に向けた様々な取り組みにより、前年度に比べ利用者が増加しました。

○ 行政目的の達成

・晴海フラッグオープンに向けた調整

晴海フラッグのオープンに向けて、隣接する晴海緑道公園との境界整備や、工事事業者・港湾局との現場確認など、入居開始までに課題を解決するよう関係者との調整を行いました。

3 収支状況（単位：千円）		
項 目		金 額（税 込）
収 入 計		248,581
内 訳	指 定 管 理 料	242,247
	利 用 料 金	6,334
支 出 計		245,723
収 支 差		2,858

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。